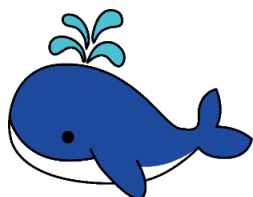


献立ひとくちメモ

1月25日(火)



全国学校給食週間のお話です。

明治22年から学校給食の取り組みは全国各地へ広がりましたが、戦争の影響で食料が不足し、一時期実施できなくなっていました。戦後、子どもたちの栄養状態を改善しようと、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）という民間団体から贈られた小麦粉などを使い、昭和25年ごろ給食が再開されました。昭和29年には「学校給食法」という学校給食に関する法律ができました。

今日は昭和25年ごろの献立が登場します。アメリカからもらった小麦粉を主食としたパン、たんぱく質の代表格であったクジラは戦後よく捕鯨が推奨されており、この時代ではとても人気メニューでした。